

令和7年度 議会運営委員会 行政視察実施報告書

1 視察日程

令和7年7月23日（水）～7月25日（金）

2 視察先及び調査事項（詳細は別紙のとおり）

岩手県奥州市

- ・政策サイクルの形成について
- ・議員間討議について
- ・議会広報について

岩手県滝沢市

- ・市民参加の取組について
- ・議会支援機能の充実について
- ・議員間討議について

3 参加者

委員長	藤	井	武	彦
副委員長	城	戸		力
委員	高	橋	章	哲
	佐	伯	利	彦
	西	坂		壽
	行	元		博
	越	智	俊	幸
	一	色	輝	雄
	武	田		功
議長	伊	藤	孝	司
	川	又	由美	恵
副議長	三	好	和	彦

(別紙)

視察先	岩手県奥州市（人口108,609人、面積993.30km ² ）
視察日時	令和7年7月23日（水） 15時00分～16時30分
視察目的 （視察先選定理由）	<p>奥州市議会では、政策サイクルによる政策提言や議員間討議を行い、積極的な情報開示と市民の声を拾い上げる協調活動を実施している。また、専門的な事務調査などによる課題解決に結び付ける委員会活動や市民懇談会を実施することで、民意の把握と市政への反映を行っている。</p> <p>今後、政策立案機能及び広報・広聴機能の充実・強化を図るために、先進的な事例について調査・研究を行う。</p>
調査概要	<p>1 政策サイクルの形成について</p> <p>（1）政策立案等の手法について</p> <p>政策提言の新たな形として令和元年5月に政策立案等ガイドラインを設け、政策提言を決議し実行性を高め、実現を担保している。</p> <p>また、年間計画を策定するなど、課題解決に向けたスケジューリングに沿ってゴールを目指している。</p> <p>（2）市民意見等を反映させるしくみづくりについて</p> <p>政策決議提案のため、市民との懇談会をワールドカフェ方式で行って市民の意見を把握し、その中から市政課題を抽出して、常任委員会で調査・検討するテーマを設定している。</p> <p>（3）実施及びフォローアップの状況について</p> <p>提言内容について当局と意見交換を行い、課題背景の共有とフォローアップでの活用を行っている。未実施項目については、一般質問や所管事務調査で追及し、必要な是正措置を要求している。</p> <p>（4）成果と今後の課題について</p> <p>令和元年9月に決議した公共交通施策に関する政策提言書では、令和2年2月に策定された第3次奥州市バス交通計画において15施策の提言が採用されている。</p> <p>また、未実現の提言については、フォローアップを行うことが課題となっている。</p> <p>2 議員間討議について</p> <p>（1）具体的な運用方法及び取り決め等について</p> <p>対話をベースとした合意形成プロセスを議員間討議と位置付け、令和5年8月に議員間討議のガイドラインを策定している。</p> <p>（2）実施状況について</p> <p>重要案件について実施し、まずは対話により相互理解を深め、疑問や課題に思っていることを議員間で洗い出し、議論を行っている。</p> <p>（3）成果と今後の課題について</p> <p>議論を市民に示し、議員間討議を入れながら結論に至った経緯を</p>

	<p>明確にすることで、市民に議会を理解してもらえと考える。</p> <p>3 議会広報について</p> <p>(1) 市民に分かりやすい情報発信に向けた取組について 議会基本条例において議会広報活動の充実を定め、広聴広報委員会を設置し、議会広報に関し必要な事業を行っている。</p> <p>(2) 市議会だよりの編集方針と特色ある紙面づくりについて 手に取って読んでもらえる広報を目指すという点でいろいろ工夫を続けてきている。特に、表紙を写真でなくイラストで作っている。一般質問記事は一人当たり290字以内とし、写真やイラストを付けている。</p> <p>(3) 広報と広聴機能の一体的な取組及び推進体制について 議長の所信表明をまとめた議長マニフェストの重点項目の一つに広報・公聴活動の充実強化を掲げており、情報公開の徹底と説明責任を果たすことはもちろんのこと、市民の意見や要望を的確に把握し、市政への反映と政策立案や政策提言を積極的に行っていくため、広聴機能の充実強化を図り、取り組みを進めていく。</p> <p>(4) 今後の課題について 議員のなり手不足が全国的な課題となっており、住民自治の根幹に関わることであり、市民の市政に対する関心が薄れ地域の衰退にもつながりかねない重要な課題である。 「チーム奥州市議会」が一丸となり、市民の声をしっかり聞き、意見を集約することに重きを置き、市民の思いに応えられる情報を発信し、市民参画の推進と開かれた議会を目指して更に取り組んでいく。</p>
<p>所感 (意見・感想・今後の課題等)</p>	<p>「チーム奥州市議会」として一丸となり、議長の所信表明をまとめた議員マニフェストに基づき課題解決に向け取り組んでいることは大いに参考となった。議員間討議や情報公開の徹底と説明責任を果たすこと、市民の意見や要望を的確に把握して市政の反映と政策立案や政策提言を積極的に行っていくための広聴機能の充実・強化に取り組んでいかなければならないと感じた。</p>

その他

視察の様子



視察先	岩手県滝沢市（人口54,619人、面積182.46km ² ）
視察日時	令和7年7月24日（木） 13時30分～15時00分
視察目的 （視察先選定理由）	<p>滝沢市議会では、市民参加の取組、議員間討議などの実施により、市民との対話重視で市政の課題へリンクして成果を出している。そのために、政策サイクルを回しながら議会モニターや議会サポーターなどを活用し、議会機能の充実を図っている。</p> <p>今後、更に市民との情報共有を図り、また、市民の多様な意見や要望の把握に努めるため、先進的な事例について調査・研究を行う。</p>
調査概要	<p>1 市民参加の取組について（議会フォーラム、市民議会、議会報告会、市民懇談会、議会サポーターなど）</p> <p>（1）概要について 市民議会、議会報告会、市民懇談会を毎年開催し、市民の声や想いを政策サイクルに生かし、政策提言につなげている。</p> <p>（2）具体的な実施方法及び実施状況について 市民議会は年1回、議会報告会は年1回以上、市民懇談会は申し込みや申し入れのつど開催している。議会フォーラムについては任期の最終年度に開催している。議会報告会は2部構成で意見交換を行い、ワールドカフェ形式で3常任委員会の所管する内容をテーマとして実施している。</p> <p>（3）市民等から寄せられた意見の取り扱いについて 所管事務調査項目の選定に活用し、政策提言等に反映している。</p> <p>（4）成果と今後の課題について 幅広い世代から声を聞くことができおり、今後は、いただいた市民の声をどのように活用していくか、進捗状況等をどのようにフィードバックしていくかが課題と捉えている。</p> <p>2 議会支援機能の充実について（議会モニター、議会アドバイザーなど）</p> <p>（1）概要について 市民に議会を側面から支援いただくしくみとして議会モニター、議会サポーター、議会アドバイザーを設置している。</p> <p>（2）選考方法及び基準について 基本的には議会モニターと議会サポーターは公募、議会アドバイザーは専門的知識又は経験を有する学識経験者等に議長が委嘱している。</p> <p>（3）意見・提言等の取り扱いについて 広報常任委員会で議会だよりやホームページの構成を検討するに当たって議会モニターの意見を聞いている。更に、モニター会議を年1回開催し、提言等が提出されたときは、議会運営委員会で対</p>

<p>調査概要</p>	<p>応を検討し、検討結果を議長に報告している。</p> <p>(4) 成果と今後の課題について</p> <p>市民等の意見を議会運営や政策に反映させることが出来ている。議会モニター等の意欲や関心をそぐことのないように新たな取組を模索することが課題と捉えている。</p> <p>3 議員間討議について</p> <p>(1) 具体的な運用方法及び取り決め等について</p> <p>滝沢市議会自由討議実施要綱に沿って運用している。自由討議とし、問題点を明確にしてさまざまな観点から議論を深め、公開の場で議員同士が意見を交換している。</p> <p>(2) 実施状況について</p> <p>直近2年間では、決算審査、予算審査で実施している。令和5年度決算審査では、所管事務調査のテーマ、政策提言を課題として自由討議を行った。</p> <p>(3) 成果と今後の課題について</p> <p>予算決算サイクルを政策サイクルと位置付けている。市民の声を聞き、議員間討議を充実させることで、市民ニーズが反映された課題の深掘りができている。</p> <p>一方で、議論が賛成、反対という意見の対立で終わってしまい、合意形成を生み出す議論や具体的解決策を考える議論に至っていない。</p>
<p>所感 (意見・感想・今後の課題等)</p>	<p>市民参加の取組など、これだけの内容を実施するためにはチーム議会として相当な労力をかけて行っていく必要性を感じた。</p> <p>市民の皆さんとの意見交換にワールドカフェ形式やSOUNDカードを活用するなど、すばらしい工夫を随所と感じた。議会モニターや議会サポーターを活用した議会だよりのブラッシュアップは他市とは一味違った内容となっていた。</p> <p>多くの努力と研究の上に、議会改革が推進されていることについて、大いに触発され勉強になった。</p>

その他

視察の様子

